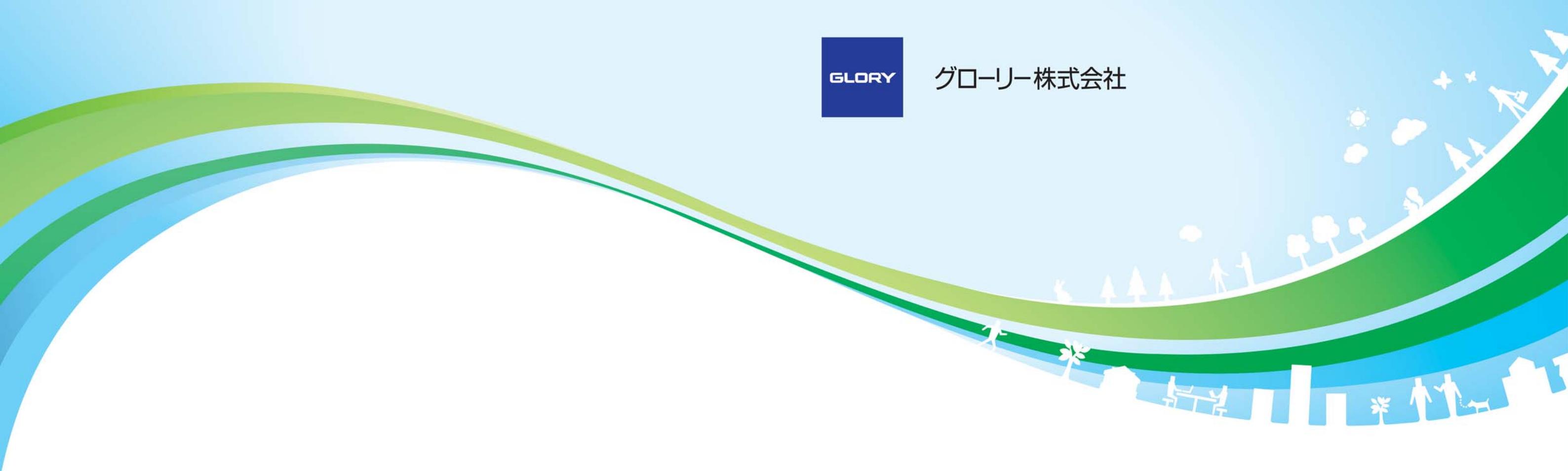




グローリー株式会社



We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来

環境・社会報告書 2012

グローリー株式会社

〒670-8567 兵庫県姫路市下手野1-3-1
TEL(079)297-3131(代表) FAX(079)294-6233
www.glory.co.jp

本報告書に関するお問い合わせ
品質・環境推進部 環境管理グループ
TEL(079)297-8952 FAX(079)297-3124



この報告書は、FSC®認証紙と植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。

ステークホルダーの皆様の信頼に応えて"確かな未来"を実現いたします



編集方針

環境保全活動に加え、社会貢献に関する取組みをご報告いたします

2012年、当社は創業100周年にあたる2018年に向けた『長期ビジョン2018』を策定し、基本方針の一つに「CSR活動を通じて、社会とともに継続的な企業成長を図る」を掲げました。

これを機に、2008年から発行してきた「環境報告書」を「環境・社会報告書」と改称し、当社グループの環境保全活動のみならず、社会貢献に関する情報もご報告いたします。

◎報告対象組織

環境活動 / グローリー株式会社／本社・本社工場、東京本部、品川事業所、埼玉工場、姫路物流センター、姫路バーツセンター、東北支店、東日本支店、首都圏支店、東海支店、近畿支店、中四国支店、九州支店
グローリープロダクト株式会社／本社・福崎工場、加西工場、佐用工場、市川工場
グローリーアZシステム株式会社／本社・西宮事業所、東京事業所
グローリーシステムクリエイト株式会社／姫路本社、東京事業所
グローリーエンジニアリング株式会社 グローリーフレンドリー株式会社 グローリーメカトロニクス株式会社

社会活動 / グローリー株式会社

◎報告対象期間 2011年度(2011年4月～2012年3月)

◎発行日 2012年6月

会社概要

商 号 / グローリー株式会社

GLORY LTD.

創 業 / 1918年(大正 7年) 3月

設 立 / 1944年(昭和19年) 11月

資 本 金 / 12,892,947,600円

上場証券取引所 / 東京・大阪証券取引所

市場第一部

従 業 員 数 / 3,561名

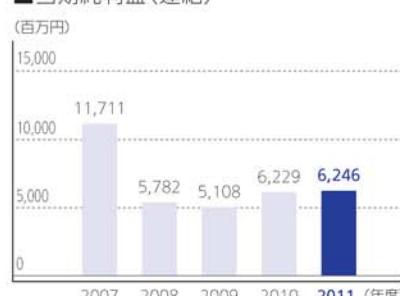
(2012年3月31日現在)

事 業 内 容 / 通貨処理機、情報処理機、自動販売機、カードシステム、サービス機器などの開発・製造・販売・メンテナンス

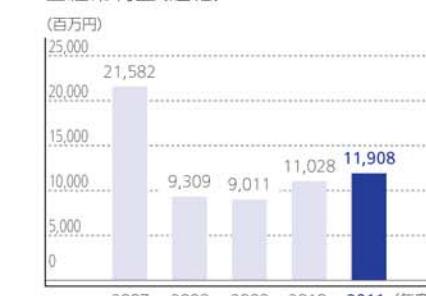
■売上高(連結)



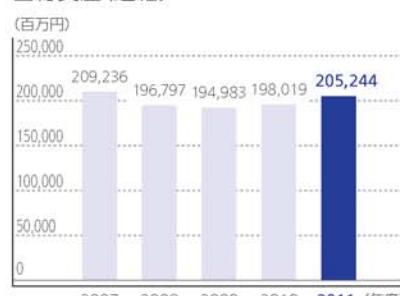
■当期純利益(連結)



■経常利益(連結)



■総資産(連結)





全社員が一体となって、長期ビジョンの実現を目指してまいります

当社は2018年に創業100周年を迎えます。この度、将来にわたってさらなる成長を実現するため、2018年におけるありたい姿を明確にした、『長期ビジョン2018』を策定いたしました。ビジョンの策定にあたっては、社員が未来のグローリーの企業像に夢を抱き、一体感を持って取り組めるものでありたいと考え、我々経営陣だけでなく、次世代を担う中堅・若手社員の意見も積極的に取り入れました。そして、基本方針として、「モノづくり」の技術で新たな価値を創造し、夢へ挑戦する、「CSR活動を通じて、社会とともに継続的な企業成長を図る」の二つを掲げました。

『長期ビジョン2018』やその実現に向けての第一ステップと位置づけた『2014中期経営計画』は、朝礼や社内報を通じて、社員への浸透を図っております。中期経営計画の初年度となる2012年度は、ビジョン実現の基礎固めとして、海外市場における事業展開など、さまざまな戦略に取り組んでまいります。また、メーカーの使命であるお客様の

信頼と満足を得る優れた製品・サービスを提供するため、「世の中の益に供する新製品を間断なく開発する」という、グローリーのDNAを次世代へ引き継いでいきたいと考えております。

そして、これらの施策に社員が一体となって取り組める環境を作ることも、私の重要な役割と認識しており、2012年度より全社活性化運動を開始いたしました。この活動では、社員同士のコミュニケーションの促進やさらなる業務の効率化を図り、社内の活性化を通じて、やりがいや達成感を持って働く職場風土を醸成してまいります。

また、基本方針に掲げた「CSR活動」につきまして、当社はこれまでCSRという言葉こそ使用しておりませんでしたが、コーポレート・ガバナンス体制の強化、コンプライアンス経営の充実を図り、環境保全活動や社会貢献活動、IR活動などを通じて、ステークホルダーの皆様と良好な関係を構築してまいりました。今後は、社会の公器としての

当社の役割をさらに重視し、本業を通じて社会に貢献してまいいる所存です。

振り返れば、2011年度は私にとって激動の1年でした。2011年4月の社長就任と同時に東日本大震災の対策本部長となり、「お客様の業務再開、継続」を最優先として支援活動に取り組み、被災地へ製品・修理用部品の優先供給や、重点的な保守サービスを実施いたしました。また、グループ会社も含めた事業継続計画(BCP)の見直しも行い、サプライチェーン全体の調査や非常用衛星携帯電話の配置、社員の安否確認サービスの導入など危機管理体制の強化に取り組みました。

今後も社会情勢や経済情勢等の変化が予想されますが、当社は外部環境に左右されることなく、長期ビジョンの実現と100周年へ向けたさらなる事業基盤の強化に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

代表取締役社長

尾上弘和

◎企業理念

私たちは「求める心とみんなの力」を結集し、セキュア(安心・確実)な社会の発展に貢献します

◎経営理念

- 絶えざる開発の心で、お客様から信頼される製品とサービスを提供します
- 個性の尊重とチームワークにより、活力ある企業グループをつくります
- 良き企業市民として行動し、社会との共存・共生に努めます

◎ビジョン

GLORYを世界のトップブランドに!

◎企業メッセージ

We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来

◎トップブランドイメージ

お客様 信頼される商品・サービスの提供

株主 健全な企業活動による成長／利益創出と株主還元

社員 働きがいのある企業

取引先 公正・透明な取引と共存共栄

地域社会 良き企業市民として社会発展への貢献

環境 環境負荷低減への取組み

経営 社会規範を尊重した倫理的経営と信頼される経営



「環境ビジョン」の実現に向けて“CHALLENGE”します

社員一人ひとりの環境意識のイノベーションをもとに、「製品」と「事業」の二つの観点から「環境ビジョン」の実現を目指し、2014年度を最終年度とする中期目標を策定いたしました。

「グローリー環境ビジョン」



環境負荷の低減と地球資源の保護をグローバルに展開し、
地球環境の“確かな未来”に貢献します

「グローリー環境ビジョン」を実現するための環境活動計画

活動分野	活動テーマ	2014中期環境目標
製品 環境に配慮した製品の開発	地球温暖化の防止	環境配慮型製品の開発推進(従来機比CO ₂ 排出量15%削減)
	化学物質の管理・削減	製品含有化学物質規制の遵守(改正RoHS指令、REACH規則)
	資源の有効活用	ライフサイクルアセスメント(LCA)の展開
事業 事業活動に伴う環境負荷の低減	地球温暖化の防止	製品売上高に占める環境配慮型製品売上高30%以上 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)遵守
	化学物質の管理・削減	製造工程で使用する化学物質管理の徹底
	資源の有効活用	廃棄物、使用済み製品の回収に関する 各年度目標達成率100%
意識 環境意識のイノベーション	生物多様性の保全	「グローリー夢咲きの森」における里山保全活動 除間伐1ha、植樹20本/年、植生調査の継続実施
		新たな社会貢献活動の推進
		グリーン調達の維持・推進

「2014中期環境目標」を策定し、 製品・事業・意識の観点から活動を推進してまいります

当社は、2010年度に環境ビジョンを策定し、「製品」「事業」「意識」の3つの側面から、環境保全活動に取り組んでまいりました。特に2011年度は、東日本大震災の影響による節電対策に全社を挙げて取り組みました。

具体的には、ピーク時の電力を低減する節電対策を全国の拠点で実施いたしました。中でも埼玉工場(埼玉県加須市)では、電気事業法に基づく電力制限令に対して、作業エリアの集約など数々の施策を実施し、これを遵守いたしました。また、本社・本社工場(兵庫県姫路市)では電力会社からの節電要請に対して、勤務時間変更などの対応を行い、節電目標を達成いたしました。

また、当社は2012年度から始まる『2014中期経営計画』に合わせて、「2014中期環境目標」を策定いたしました。「製品」面においては、「製品使用時のCO₂排出量を2030年に30%削減(2005年比)」を達成するために、製品使用時のCO₂排出量の15%削減(従来機比)やライフサイクルアセスメント(LCA)の展開を掲げております。また、さらなるグローバル化に備え、製品含有化学物質規制を始めとした各国の法律への対応も徹底してまいります。

「事業」面においては、昨今の状況も踏まえ、省エネ法の遵守や行政や電力会社からの節電・省エネ要請への対応を推進してまいります。また、環境配慮型製品の市場提供の拡大や廃棄物削減、使用済み製品の回収サービス浸透による資源の有効活用により、環境負荷低減を図ります。

「意識」面においては、2011年度に生物多様性保全活動としてスタートした「グローリー夢咲きの森」での植樹・除間伐作業を進めてまいります。さらに、関東地区において新たな社会貢献活動に関する検討を進め、『長期ビジョン2018』で掲げる「CSR活動」を支える取組みを推進してまいります。

常務執行役員
環境マネジメント担当

松下 秀明

グローリーグループ環境方針	
私たちには地球にやさしい行動と環境に配慮した製品の提供に全員で取り組みます。	
グローリーグループ(以下当グループ)は、貨幣処理機器、自動販売機、情報通信機器などの開発、生産、販売、保守及び物流を行っていることを踏まえ、環境保全活動を行います。	
① 当グループの事業活動、製品及びサービスが 環境に与える影響を的確に捉え、環境汚染の予防を推進する。	④ 以下の項目を管理テーマとして取り組み、 目的・目標を定め、定期的にレビューする。 ① グリーンファクトリー、 グリーンオフィスの推進 ・省エネルギー、温水暖房 ・省資源、リサイクル ・化学物質の適正管理 ② 環境に配慮した製品の提供 ・製品の省エネルギー ・グリーン調達 ・製品含有化学物質の削減 ・製品のリサイクル
② 環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの 継続的改善を図る。	⑤ 社会の環境活動に協力とともに、 社員一人ひとりが環境保全活動を通じて社会貢献に努める。
③ 当グループの環境側面に適用される法的要件事項、 及び当グループが同意するその他の要求事項を順守する。	



製品

お客様のニーズに応える環境配慮型製品を開発しております

金融市场で

多能式紙幣両替機 <EN-700>



CO₂排出量
30% 削減

機内現金の自動再計数や、両替中の現金の補充業務を可能にした紙幣両替機です。また、高齢者や色弱者に配慮した画面表示は、カラーユニバーサルデザイン認証※を取得しています。運用者・利用者双方の使いやすさを実現する製品です。

※カラーユニバーサルデザイン認証:色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすくわかりやすい配慮をしたデザインに対し、NPO法人「カラーユニバーサルデザイン機構」が認証するものです。

流通・交通市場で

売上金出入金機 <DSR-200>



CO₂排出量
25% 削減

売上金の入金、つり銭の出金、両替を1台で行える小売店舗向けの入出金機です。専任の出納担当者を置く必要がなく、現金管理業務の効率化に貢献します。

海外市場で

紙幣出入金機 <RBG-100>



CO₂排出量
50% 削減

業界最速の計数スピードを実現した海外の金融機関向け紙幣出入金機です。窓口カウンターの下へ設置可能なコンパクトサイズながら業界最多の総収容枚数を実現し、小口窓口業務や大口入金、出納業務など、幅広い運用が可能です。

遊技市場で

景品保管機 <JK-300>



CO₂排出量
15% 削減

パチンコホールの店舗運営に欠かせない景品交換・管理業務をサポートする景品保管機です。景品の自動計数や装填ミス防止、操作履歴の確認などの新機能が追加され、ホール経営の厳正化・効率化に貢献します。

※数値はいずれも当社従来機比です。

環境データ (2011年度の実績)

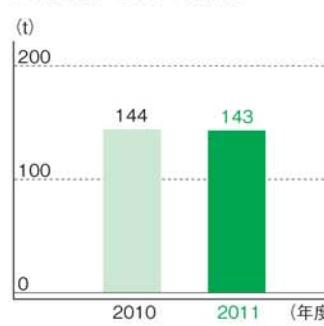
環境配慮型製品の開発

新製品開発時に製品の省エネ化や梱包材の減量化、規制化物質の削減などの項目について、従来製品と比較評価する製品アセスメントを実施しております。このアセスメントで基準を達成した製品を“グリーン製品”に認定しており、2011年度は16機種を開発いたしました。今後も、環境負荷の少ないグリーン製品の開発に注力してまいります。

グリーン製品
16 機種開発

使用済み製品の回収

■使用済み製品の回収量



2008年に環境省の廃棄物広域的処理の認定を取得し、お客様がご使用になられた製品を回収しております。回収後は、適正にリサイクル処理しております。

私のCHALLENGE

チーム一丸となって省エネ型製品の実現に取り組みました



吉野 俊吾
開発本部
第二開発統括部
設計二部 設計3グループ
グループマネージャー

多能式紙幣両替機<EN-700>の開発にあたっては、ハード・ソフトの両面から省エネ化を検討し、待機時の消費電力を抑える省エネモードを採用しました。しかしながら、その実現には、大変複雑な設計が必要でした。ユーザーの利便性を損なわないよう、省エネモードからの復帰時間にも配慮し、チーム全員でアイデアを出し合って試行錯誤を重ねました。その結果、復帰時間によって2種類の省エネモードを実現し、待機時の消費電力を大幅に削減することができました。また、省エネ対応部品を積極的に採用することにより、従来機比30%の省エネルギーを実現しました。

今後も、設計者として「使いやすさ」と「環境への配慮」の両立を実現すべく、使命感を持って環境に配慮した製品の開発に取り組んでまいります。



事業

各拠点において、環境負荷低減に向けた取組みを実施しております

地球温暖化防止

全社を挙げた節電活動を推進しております

2011年度の全国的な電力会社の電力供給力低下に伴い、全ての事業所において、ピーク時の電力消費を抑える節電活動に取り組みました。

本社・本社工場(兵庫県姫路市)では、夏季の消費電力の前年度比15%削減要請を受け、製造部門の一部で勤務時間を夜間に変更し、さらに他の部門でも、蛍光灯照度の見直しや省エネ巡回を実施いたしました。また、エアコンと大型扇風機の併用や、室温管理の徹底による消費電力の低減にも取り組みました。これらの結果、夏季のピーク時電力は、平均25%の低減を達成いたしました。

冬季も前年度比10%の節電要請に対し、空調管理等の施策を継続するとともに、ウォームピズを実施し、ピーク時電力を平均23%低減いたしました。また、埼玉工場(埼玉県加須市)では作業エリアの集約により、空調稼動エリアを限定いたしました。他の事業所においても各施策を展開した結果、全社的な省エネにもつながりました。

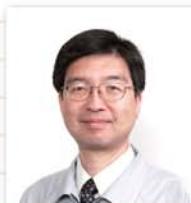
2012年5月に完成した本社社屋では、屋上に太陽光発電パネルを設置し、LED照明や太陽光を採り入れる採光ブラインドを積極的に採用いたしました。



本社社屋屋上に太陽光発電パネルを設置

私のCHALLENGE

実施はミクロに、結果はマクロに



肥塚 学
総務本部
総務部
エネルギー管理士

2011年度は、総エネルギー量を削減する省エネ活動に加え、ピーク時の電力消費の低減が急務となりました。社内で計測した電力データなどを分析し、効果的かつ業務への負担が少ない節電施策を検討・実施しました。削減可能と判断した電力と実際の消費電力には差があり、節電対策の難しさを感じましたが、社員の協力のもと達成することができました。

夏季の節電期間中は、インターネット上の掲示板を活用し、毎日の電力消費実績を周知することで、社内の節電意識向上を図りました。設備面だけでなく勤務時間変更などの運用面においても活動に取り組めたことが、効果的な節電につながったと考えています。

各拠点における環境負荷を低減させるために、省エネ型設備の導入や仕組みづくりに加えて、社員一人ひとりが環境保全について考え、ボトムアップでの省エネルギー、省資源に向けた取組みを展開しております。

資源の有効活用

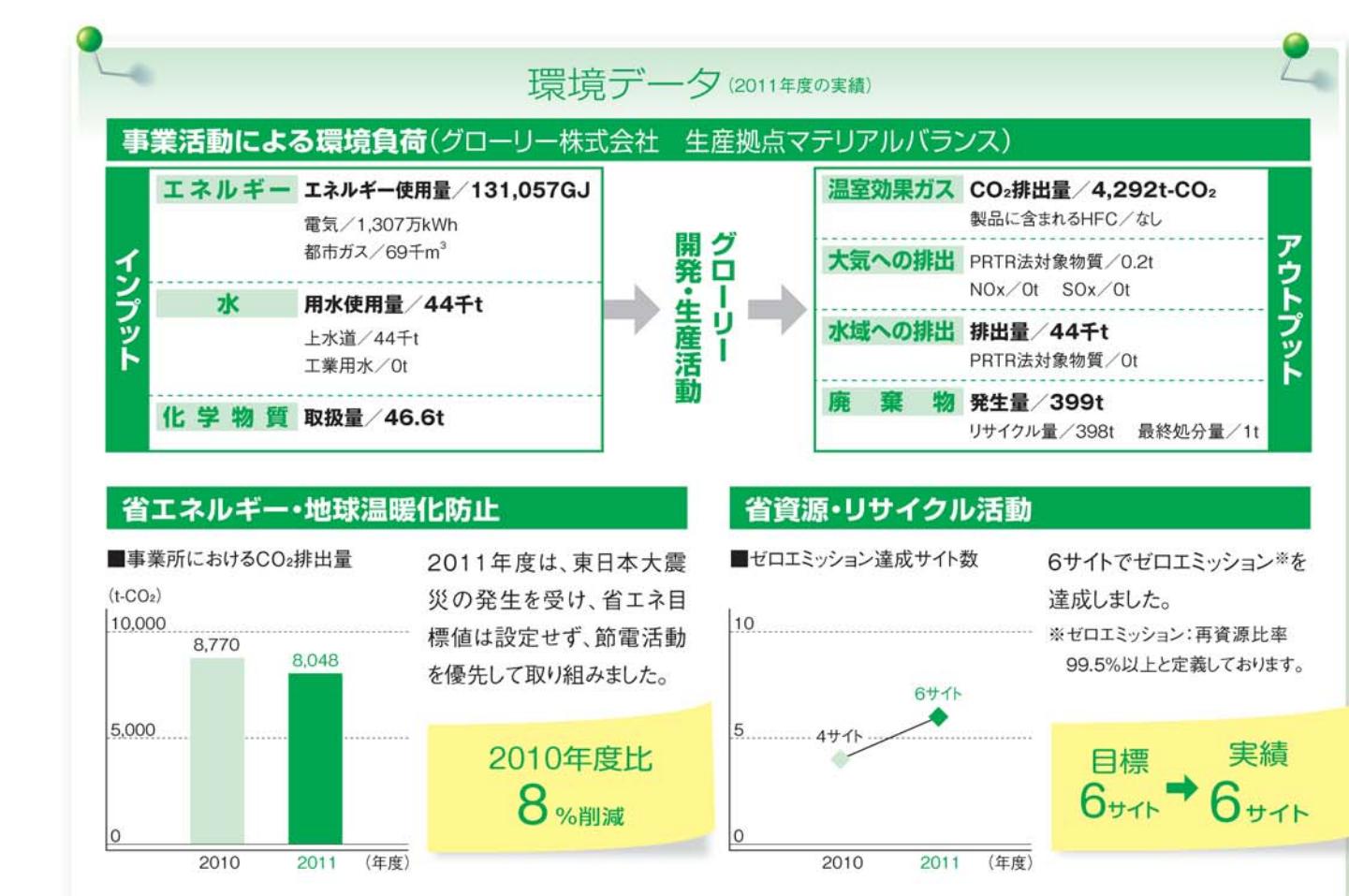
小集団改善活動を通じて、ペーパーレス化を実現いたしました

当社は、1972年より小集団改善活動を開始し、ボトムアップによる品質・業務改善を推進しております。例えば、埼玉工場生産管理部では、「データ登録業務におけるペーパーレス化」をテーマに掲げ、省資源活動に取り組みました。

従来、システムへのデータ登録依頼には、書面による申請・承認を行っていましたが、電子承認やパソコン画面上での履歴確認によるペーパーレス運用とすることにより、A4サイズ紙の使用量の年間1,200枚削減につながりました。



小集団改善活動で、ペーパーレスでの運用方法を検討





意識

環境保全に関する意識の向上に取り組みます

生物多様性の保全

「グローリー夢咲きの森」で自然体験イベントを開催いたしました

当社は、グローリー労働組合と協同で「グローリー夢咲きの森」(兵庫県姫路市)において、生物多様性保全を目的とした森林整備活動を実施しております。2011年10月には、自然の大切さを次世代に伝えていくことを目的に、「子ども自然まなび隊」と題したイベントを開催いたしました。

イベントは、当社社員の家族を対象とし、「夢咲きの森」の木々を利用したブランコや森の中での宝探し、草笛などを楽しみました。また、森で拾った小枝やどんぐりなどを使用したフォトフレーム作りも行いました。参加した社員からは、「子どもに貴重な体験をさせることができた」、「親子で楽しめてよかったです」といった声が聞かれました。



親子と一緒に草笛遊び

除伐を行ったコナラ林で、植生の追跡調査を実施いたしました

2011年4月に社員が除伐を行ったコナラ林において、5月にその後の植物の遷移を確認するため、植物の種類や生育状況の追跡調査を実施いたしました。その結果、前回の調査時には発見されなかった植物が見つかりました。9月には林内で大規模な除伐を行い、日光が多く入るようにしたため、今後は植物のさらなる生長も期待されます。

また、兵庫県版レッドデータブックに掲載されている希少種のカエルが生息していることも確認されました。今後も定期的に調査を行い、活動や施策の妥当性を確認しながら生物多様性の保全に努めてまいります。



除伐の実施前(左)と実施後(右)のコナラ林

私のCHALLENGE

子どもの笑顔に元気をもらいました



喜多山 賢

グローリー労働組合
組合長

グローリー労働組合は、以前から社会貢献の一環として募金や地域清掃に取り組んでまいりました。2011年度は、さらなる活動として、「夢咲きの森」での生物多様性保全活動に会社と協同で取り組みました。

今回のイベントでは、森の中で遊ぶ子どもの笑顔を見て、参加した社員は自然と接することの重要性を再認識とともに、子どもたちから元気をもらえたのではないかと思っています。2人の子の父としても、森でたくましく遊ぶ我が子の姿を見て、気づかぬうちに成長していたことを実感しました。

この体験を社内に広め、多くの社員と共有していきたいと思っています。

自然とのふれあいや、教育を通じて社員一人ひとりの環境意識を向上させ、環境保全活動を推進してまいります。

環境リスク管理

法令遵守を環境保全活動の基礎と位置づけております

当社では、危険物の流出や環境汚染、廃棄物の不法投棄等の環境リスクの低減に向けて、社員の意識を向上させるための教育や社内ルールの見直しなど、さまざまな取組みを展開しております。

毎年実施している内部環境監査では、社内認定を受けた内部監査員が事業所、支店を訪問し、環境マネジメントシステムに沿った運用が行われているかを確認しております。監査前には、年々更新される法律や社会情勢に対応するため、内部監査員を対象とした研修を実施し、変更内容や監査ポイントの確認を行っております。また、法令遵守を最重要の監査項目として掲げ、騒音などの規制値が遵守されていることや、行政への届出が確実に行われていることを確認しております。

2011年度は、環境リスク管理の重点テーマとして「廃棄物の処理及び清掃に関する法律の遵守」を掲げ、産業廃棄物管理票の発行などの日常業務の厳正化に加えて、処理委託先への定期的な訪問を強化いたしました。さらに、都道府県などの自治体から優良業者の認定を受けた委託先へ変更することで、厳格な廃棄物処理の仕組みを構築いたしました。

今後も、リスク低減の観点から法令遵守の徹底や社内ルールの整備を推進してまいります。



厳格な廃棄物処理の仕組みを構築



東京本部、各支店で環境保全活動に関するeラーニングを実施

環境データ (2011年度の実績)

グリーン調達の推進

当社では、環境負荷の少ない部品を購入する「グリーン調達」を推進しております。2011年度は、埼玉工場において、4社の取引先を訪問し、グリーン調達に関する調査を実施いたしました。

今後も、さらに厳格化される製品含有化学物質規制に対応するため、取引先の協力を得て、グリーン調達を推進してまいります。

目標
4社
調査 → 実績
4社
調査

法令遵守

当社では、毎年、第3四半期に環境に関する法令の遵守状況の評価を実施しております。評価の結果、法令違反や環境汚染がなかったことを確認いたしました。

目標
100%
遵守 → 実績
100%
遵守



ステークホルダーの皆様からの信頼と期待に 応えてまいります

ステークホルダーの皆様への責任を果たし、期待に応えていくことにより、社会との信頼関係を構築し、社会とともに継続的に成長できる企業グループであり続けます。

国内約100カ所に拠点を持つ当社は、周辺地域との調和を図り、良き企業市民としてより安全で住みやすい地域社会の実現に取り組んでおります。

国内
約100
カ所の拠点で
周辺地域
との調和

世界約80
カ国のお客様に
信頼される
製品・サービスの
提供

当社は、国内はもちろん世界約80カ国でグローバルに事業を展開しており、お客様は、金融機関、流通店舗、遊技施設や医療機関など多岐にわたります。各国・各市場のニーズに対応した製品開発を実現するため、マーケットインの思想を徹底するとともに、絶え間ない技術開発や品質の向上に取り組み、お客様満足度の向上に努めています。

当社は、コンプライアンスを徹底した透明で公正な購買活動に努めています。また、毎年取引先懇談会を開催し、取引先との対話や交流を通じて、パートナーシップの強化を図っています。さらに、品質向上活動発表会の開催等を通じて、取引先とともに品質向上に取り組んでいます。

約500社の
取引先との
公正かつ
公平な取引

7,878名の
株主
との対話

当社は、適時・適切な情報を提供することを株主・投資家の皆様への重要な責務であると考えております。株主・投資家の皆様との対話を通じていただいた評価やご意見は経営にフィードバックし、より一層の企業価値向上に努めています。また、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

3,561名の
社員
にとって、
働きがいのある
環境づくり

当社は、「社員が会社や自分の仕事に対して誇りを持ち、経営者や管理者を信頼している企業」、「社員が自主・自律的行動し、自発的に問題を解決しようとする企業」でありたいと考えております。こうした企業であるために、2010年度末に実施した「社員満足度調査」の結果分析と対策の立案を2011年度に行い、2012年度に実施する「全社活性化運動」の中で展開してまいります。

※数値は全て2012年3月31日現在です。

社会とともに、継続的な企業成長を図ってまいります

当社グループは、創業100周年に向けた『長期ビジョン2018』の基本方針の一つである「CSR活動を通じて、社会とともに継続的な企業成長を図る」を実現するため、お客様、株主、投資家、地域社会、取引先などステークホルダーの皆様とのさまざまな活動を通じて、社会の発展に貢献してまいります。

そのためには、持続的な企業成長を図り、安定した収益を上げることが重要です。同時に、コーポレート・ガバナンスの確立とコンプライアンスのより一層の浸透を図ることにより、社員一人ひとりが法令遵守の精神と高い倫理観を持ち、企業価値向上に努めることが使命であると考えています。

また、公益財団法人グローリー小学生育成財団を通じた小学生の健全育成事業を始めとする社会貢献活動や、積極的かつ適時・適切な情報開示による企業経営の透明性の確保など、ステークホルダーの皆様に対する取組みを着実に行ってまいります。

加えて、今後一段とグローバル展開が加速することが予想されるため、関係各國の法令遵守はもとより、その地域の文化や慣習、個人のライフスタイルを尊重し、多様な価値観を受け入れながら事業展開を行ってまいります。こうした当社の長期ビジョンの実現に向けたさまざまな活動を通じて、社会への責任を果たしてまいります。

取締役
上席執行役員
総務本部長
三和元純



東日本大震災の復興に向けた対応と事業継続計画に関する対策

東日本大震災では、当社のお客様である金融機関や流通店舗の多くが被災されました。当社グループは、地震発生後速やかに震災対策本部を設置し、お客様、取引先、社員への支援を行いました。迅速に支援物資を送るとともに、継続して大勢のテクニカルスタッフを被災地に派遣し、お客様の復旧をサポートいたしました。また、義援金を日本赤十字社などに寄付したほか、社員からも義援金を募りました。

さらに、震災を受けて事業継続計画(BCP)の見直しを行い、緊急時の連絡手段の確保や、食糧や飲料水等の備蓄状況の見直し、重要システムの災害対策強化、部品調達先の分散等によるサプライチェーンの強化など、非常時の対応力の強化を図っております。



お客様

信頼に応える製品・サービスを提供いたします

「お客様の信頼と満足を得る製品とサービスをタイムリーに提供します」を品質方針とし、「市場のニーズを先取りし、魅力ある製品開発を行う」、「源流で品質を作り込む」「出会いの品質とアフターサービスを大切にする」の3つを重点指向として掲げ、お客様満足度向上に努めております。

企画・開発から保守まで、一貫した品質向上に努めてまいります

当社は、企画・開発から保守までの各部門が緊密に連携し、お客様の多様なニーズに対応するため、お客様視点の製品開発や技術開発を強化し、お客様に満足いただける製品づくりに努めています。

事業所・支店では、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の認証を取得し、各部門において、徹底した品質管理を実施しております。例えば、品質保証については、源流にあたる企画・開発を重視するとともに、製品安全レビューを実施するなど、製品開発の全工程において安全・品質管理を徹底しております。また、2011年度は、若手・中堅の設計担当者を対象に実践に即した研修を実施し、設計基礎力の強化を図りました。

さらに、保守業務においても、全国約1,000名のテクニカルスタッフを配置し、点検・修理を行っております。技術力向上を目的とした研修を実施し、2011年度は延べ636名が受講いたしました。



中堅以上の設計担当者を対象とした、設計手法に関する研修



企画・開発

調達

製造

販売

保守

企画・開発

調達

製造

販売

保守

企画・開発

調達

製造

販売

保守

企画・開発

調達

製造

販売

保守

企画・開発

調達

製造

販売

保守

あらゆる人にとって使いやすい製品を提供します

当社の製品は、高齢者や、障がい者、外国人など、さまざまな方が使用されます。そこで、製品の開発にあたっては、どなたにも使いやすい製品であることを心がけ、設計を行っております。例えば、色覚の多様性に配慮した色合いや、視認性の高い文字やイラストの使用、外国語表記など、常に利用者の視点に立った製品開発を行っております。

また、一部の製品では、開発過程で実際に製品を利用していただくユーザーテストを実施しております。操作性や表示内容のわかりやすさなどの観点から課題を洗い出し、製品開発に活かしております。



診療費支払機(FHP-10)

株主

適時・適切な情報を提供してまいります

経営の透明性を高め、株主・投資家を始めとするステークホルダーの皆様に積極的な情報開示を行うことを、当社の重要な責務と考え、適時・適切な情報提供に努めております。

情報開示の充実に取り組んでおります

当社は、法令や証券取引所の定める開示規則に従うのみならず、投資判断に有用であると判断した情報についても、積極的な開示を心がけております。

特に、株主や投資家の皆様との対話の機会を重視し、株主総会での丁寧なご説明、決算説明会や会社説明会、コンファレンスコールなどを行っております。また、株主総会後には、ショールームや工場の見学会を開催し、当社に対する理解を深めていただく機会を設けております。2011年度は、決算説明会やコンファレンスコールの開催時期を早期化し、積極的な情報提供に努めました。

一方、ウェブサイトでの情報開示にも力を入れております。2011年度は、英文開示資料を始めとした情報の充実を図り、「2011日興アイ・アール総合ランキング企業ホームページ最優秀サイト」、「大和インベスター・リレーションズインターネットIRベスト企業賞」、「ゴメスIRサイト総合ランキング銅賞」を受賞するなど、当社の取組みが評価されました。

今後は、海外投資家向けのIR活動を拡充するとともに、2012年度からスタートした『2014中期経営計画』の進捗状況報告など、より一層IR活動を充実させてまいります。



株主総会



株主総会後の工場見学会



2012年3月

私のCHALLENGE



島野 裕之
開発本部 デザイン部

当たり前の使いやすさを追求します

診療費支払機(FHP-10)の開発にあたっては、さまざまな方が使用されることを想定し、「どなたにとっても使いやすい!!」を目指して設計しました。例えば、高齢の方も見やすいように文字を大きくし、イラストや操作画面のアニメーション、音声ガイダンスによる案内などに配慮しました。また、車椅子の方でも操作ができるよう、操作画面の下部にボタンを配置しました。さらに、白内障の方や色弱の方が見やすい色合いを用い、カラーユニバーサルデザイン認証を取得しました。ほかにも、周囲の雰囲気を損なわないやさしい色づかいの外観設計を行っています。



地域社会

子どもたちの健全な育成や地域社会への貢献に努めます

子どもたちの健全な育成に貢献いたします

当社は、次世代を担う子どもたちの心身ともに健全な育成を願い、1995年に財団法人グローリー小学生育成財団を設立(2012年4月に公益財団法人化)し、小学生を対象に、科学を楽しむ「科学体験教室」や、豊かな情操を培う「こども劇場」、感動的な体験を親子で共有する「親子体験教室」を始め、「小学生剣道大会」、「テニス教室」、「英会話教室」などを開催しております。2011年には、春と秋に「親子体験教室」を開催し、春教室では野外施設でのレクレーションゲームや写真教室、秋教室では、熱気球の原理や仕組みの学習や、熱気球への搭乗体験も行いました。夏休みに開催した「科学体験教室」では、社員ボランティア約70名が指導者となり、てんとう虫ロボットの製作・操縦を通じて、子どもたちの豊かな創造力やユニークな発想の醸成に取り組みました。21回目の開催となる「こども劇場」では、3,200名を招待し、ぬいぐるみ人形ミュージカルによる「シンデレラ姫」を上演し、子どもたちの感性と豊かな創造力を育む場を提供いたしました。

このように、今後も子どもたちの健全な育成を図り、地域教育の振興に寄与する事業を展開してまいります。



私のCHALLENGE

親子で感動を共有してほしい と願っています



長尾 政昭

公益財団法人
グローリー小学生育成財団
常務理事

2010年度より、子どもたちにもっと外で遊び、色々なことを体験してほしい、という思いから「親子体験教室」を開催しております。このイベントでは、親子とともに参加・体験し、感動を分かち合うことで、さらに親子の絆を深めていただきたいと願っております。教室に参加した子どもたちからお礼や感想のお便りをいただくこともあります。大変励みになっております。

今後も、子どもたちの元気を分けてもらいながら、地域と企業の懸け橋として活動を続けてまいります。

企業行動指針の『企業と社会の利益の調和と発展を図り、「良き企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います』を実現するために、次世代を担う子どもたちの育成や、地域の活性化への取組みなどの社会貢献活動を展開しております。

開発途上国の子どもたちへの支援を行います

当社は、2011年7月から、本社内の社員食堂で「TABLE FOR TWO(TFT)プログラム」※に対応したメニューの提供を開始いたしました。世界では10億人が飢餓に苦しむ一方、10億人が肥満に悩んでいると言われています。TFTプログラムはこの不均衡を解消するため、社員食堂で生活習慣病の改善に役立つヘルシーで栄養バランスの取れた食事をすると、その食事代金の一部を開発途上国の子どもの学校給食として寄付するものです。

気軽に参加できる社会貢献として社員からの評判も高く、2012年3月末までに2,269食分を寄付いたしました。

※TABLE FOR TWOプログラム:社員食堂やレストランにおいて対象商品を購入すると、その代金の一部をNPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通じて、開発途上国の子どもの給食として寄付するプログラムです。



TABLE FOR TWO
プログラム対応メニュー

企業市民として、地域社会の発展に貢献いたします

事業所周辺で開催されるイベントへの支援も、継続的に行っております。例えば、毎年開催される「姫路城下町マラソン」に対し、継続的な支援を行っております。また、2009年から開始された世界文化遺産の「姫路城」大天守保存修理事業に対する寄付も行いました。2011年11月に開催された「B級ご当地グルメの祭典!B-1グランプリin姫路」では、53名の社員がボランティアスタッフとして参加いたしました。





社員

働きがいのある環境づくりに取り組んでおります

仕事と生活を両立できる環境を整えております

当社では、社員が仕事と生活を両立するため、長時間労働を抑制するさまざまな施策を展開しております。例えば、毎週水曜日の「ノー残業デー」の徹底や、時間外労働の年間枠の設定をしております。また、業務効率化の一環として、午前中の2時間を「がんばるタイム」とし、自分の仕事に集中するための時間の確保や、会議時間の短縮を目指した会議改革に取り組んでおります。

また、社員が安心して働き続けられるよう、育児休業制度や育児短時間勤務制度を整えております。2012年度からは育児短時間勤務の限度期間を子の「小学3年生修了まで」に延長するなど、働きやすい環境づくりを推進しております。

■社員構成(2012年3月31日現在)		
社員数	男性 3,160名	女性 830名
	正社員 3,561名	準社員・契約社員など 429名
障がい者雇用*	雇用数 57名	雇用率 1.98%
平均勤続年数	17.3年	
採用人数 (2011年4月新卒採用)	男性 72名	女性 7名
全社員に占める 労働組合員数の割合	59.7%	

*障がい者雇用数、雇用率とも、グローリープロダクツ株式会社及びグローリーフレンドリー株式会社を含む。

ダイバーシティ(人材の多様性)を推進するための意識改革に取り組みました

2011年度は男女共同参画に対する社員の意識改革のため、外部専門家による社員へのヒアリングを実施いたしました。その結果、女性社員の活躍には、多様なキャリアの選択や職場における理解が不可欠と考え、管理職に対する研修を行いました。また、女性社員を対象とした研修も開催し、キャリアアップに関する意識改革に取り組みました。



女性社員の意識改革のためのセミナー

私のCHALLENGE

育児に仕事に毎日が充実しています



國府 真弓

経営企画部

育児休業を取得後、育児短時間勤務制度を利用して復職しました。復職前は、仕事と育児の両立ができるかどうか不安でしたが、復職してからは、次第に計画的に物事をこなす意識が高まりました。また、勤務時間が短い分をサポートしてくれる職場の方々のおかげで、充実した日々を送ることができます。育児があるから仕事を頑張れる、仕事があるから育児を頑張れる、そんなバランスが私の中にできています。

夫や両親をはじめ、理解ある職場の方々には本当に感謝しています。今後も、意欲的に仕事や育児に取り組むことで、会社へ恩返しができたらと思っています。

人権と人間性を尊重し、仕事と生活の調和の取れた、安心して働くことができる職場環境の実現や、社員一人ひとりの能力とキャリアを最大限に活かした公正な人事を通じて、働きがいのある企業となることを目指しております。

キャリア研修プログラムを充実させております

当社では、人材育成のための各種研修・教育を実施しております。階層別研修としては、企業人としての自分のキャリアを考える「新入社員研修」、自立した社会人として今後のキャリアプランを考える「30歳研修」、定年までの能力発揮と将来のライフプランを考える「ライフキャリア研修(一般職50歳、管理職55歳)」があります。

これらに加えて2011年度は、入社後4年目の社員が自らの立場や役割を確認する「4年目研修」を開始いたしました。今後は、40歳前後でのキャリア研修や、管理職育成に向けた仕組み構築に取り組んでまいります。



自立した社会人として
キャリアを考える30歳研修

社員の心身の健康をサポートしてまいります

社員の健康管理のため、当社の13事業所で「安全衛生委員会」の設置と産業医の選任を行っております。本社・本社工場では、専属の産業医による面接指導を毎月実施し、2011年度は約500名の社員に対して面談を通じた健康指導を行いました。

また、心の健康を保つため、社内外、男女3名のカウンセラーによる個別カウンセリングやメンタルヘルス研修の実施、社内報やインターネット上での情報発信を行なうなど、社員が相談しやすい環境を整備しております。



首都圏支店での傾聴研修

社会データ(2011年度の実績)

育児休業・育児短時間勤務制度



メンタルヘルス研修



